

子どもの接種世界で拡大

日本で五十一歳の子どもに対する新型コロナワクチン接種の議論が進む中、世界でも子ども向けを承認した国が増えていく。ロイター通信などによると、少なくとも十六カ国が十一歳以下が対象の接種を認めた。米国は今月から五十一歳対象の投与を始め、中国は年齢を三歳まで引き下げた。ただ、接種が遅れる発展途上国への供給を優先すべきだととの意見もある。

16カ国以下16歳以下

米国では新規感染者が十月下旬から徐々に増加。冬を前にして集団感染による休校などへの懸念もあり、五十一歳へのファイザーワクチンの投与を決定した。通常の三分の一の量を三週間間

途上国優先求める声も

隔で二回接種する。開始から十日ほどで推定三百六十万人が接種を受けた。一方、米カイザー・ファミリー財団の調査によると「長期的な影響がよく分からぬ」などの理由で重症化しない子どもへの接種を模様眺めとしたり、拒否したりする保護者は六割超に上る。イスラエルは今月十四日、米ニューヨーク州で新型コロナウイルスのワクチン接種を受ける歳の女児＝ロイター・共同

各国の新型コロナワクチン11歳以下の接種状況

米国		5~11歳へファイザーワクチンの接種実施
中国		3~11歳へ国産ワクチンの接種実施
イスラエル		5~11歳へファイザーワクチンの接種承認
インドネシア		6~11歳へ中国製の接種承認
アルゼンチン		3~11歳へ中国製の接種実施
日本		来年2月にも5~11歳の接種開始か

4日、米ニューヨーク州で新型コロナウイルスのワクチン接種を受ける歳の女児＝ロイター・共同

日本では厚生労働省のワクチン分科会で専門家が五十一歳への接種に関し協議を始めている。

日本では厚生労働省のワクチン分科会で専門家が五十一歳への接種に関し協議を始めている。

日本では厚生労働省のワクチン分科会で専門家が五十一歳への接種に関し協議を始めている。

日本では厚生労働省のワクチン分科会で専門家が五十一歳への接種に関し協議を始めている。

日本では厚生労働省のワクチン分科会で専門家が五十一歳への接種に関し協議を始めている。

日本では厚生労働省のワクチン分科会で専門家が五十一歳への接種に関し協議を始めている。